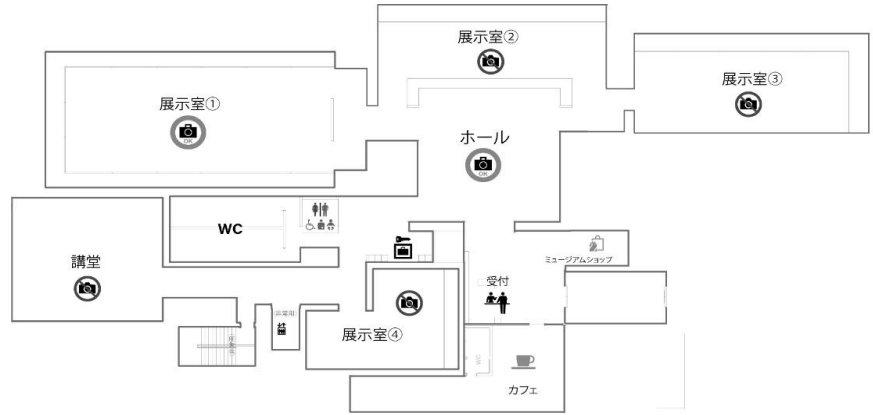


2025 11.22 SAT - 12.21 SUN

主催：公益財団法人泉屋博物館、日本経済新聞社

出品目録

※出品作品は都合により予告なく変更することがあります。  
※リストの並びは展示順です。



ご鑑賞にあたってのお願い

- ・撮影はホール内・展示室1のみ可能です。  
フラッシュ・三脚のご使用、動画の撮影はご遠慮ください。  
シャッター音等、周囲へのご配慮をお願いいたします。
- ・館内は全館禁煙となっております。展示室でのあめ・ガムを含む飲食はご遠慮ください。  
水分補給はロッカー前の小ホールにてお願いします。
- ・ホール、小ホールも含め、館内での会話のお声は控えめにお願いします。  
皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます

No.	作品名	作品よみ	作者名	制作年代	所蔵
<b>第I章 謡い、舞い、演じるために—住友コレクションの能装束【展示室①】</b>					
1	白色尉	はくしきじょう		桃山時代・16世紀	泉屋博物館東京
2	白紫段海松貝四菱唐花丸模様厚板	しろむらさきだん みるがいのつびし からはなまるもよう あついた		江戸時代・17世紀	泉屋博物館東京
3	紅萌黄段花菱亀甲繫桐波丸模様厚板	べにもえぎだん はなびしきっこうつなぎ きりなみまるもよう あついた		江戸時代・18世紀	泉屋博物館東京
4	茶地変蜀江模様厚板	ちゃじ かわりしよっこうもよう あついた		江戸時代・18世紀	泉屋博物館東京
5	紅白浅葱段松原霞波模様縫箔	こうはくあさぎだん まつばらかすみ なみもよう めいはく		江戸時代・18世紀	泉屋博物館東京
6	紅地牡丹蝶方勝模様唐織	べにじ ぼたんちょうほうしょうもよう からおり		江戸時代・18世紀	泉屋博物館東京
7	紅地二重菱繫蝶花熨斗模様唐織	べにじ にじゅうひしつなぎ ちょうはなのし もよう からおり		江戸時代・ 18～19世紀	泉屋博物館東京
8	紅茶段卍字繫鉄線藤模様唐織	べにちゃだん まんじつなぎてっせん ふじもよう からおり		江戸時代・18世紀	泉屋博物館東京
9	紅白萌黄段青海波笹梅枝垂桜模様唐織	こうはくもえぎだん せいがいはささうめ しだれざくらもよう からおり		江戸時代・18世紀	泉屋博物館東京
10	紅白萌黄段菊唐草菊波模様唐織	こうはくもえぎだん きくからくさ きくなみもよう からおり		江戸時代・18世紀	泉屋博物館東京
11	紺地若松笹模様袷狩衣	こんじ わかまつささもよう あわせかりぎぬ		江戸時代・18世紀	泉屋博物館東京
12	紫地震若松模様袷狩衣	むらさきじ かすみわかまつもよう あわせかりぎぬ		江戸時代・19世紀	泉屋博物館東京
13	白地松青海波模様袷狩衣	しろじ まつせいがいはもよう あわせかりぎぬ		江戸時代・18世紀	泉屋博物館東京

No.	作品名	作品よみ	作者名	制作年代	所蔵
14	紺地桐鳳凰模様袷狩衣	こんじ きりほうおうもよう あわせかりぎぬ		江戸時代・19世紀	泉屋博古館東京
15	萌黄地枝垂柳模様単狩衣	もえぎじ しだれやなぎもよう ひとえかりぎぬ		江戸時代・18世紀	泉屋博古館東京
16	紺地唐花七宝繫模様袷法被	こんじ からはなしっぼうつなぎもよう あわせはっぴ		江戸時代・19世紀	泉屋博古館東京
17	萌黄地亀甲繫向鶴菱模様側次	もえぎじ きっこうつなぎむかいつるびし もよう そぼつき		江戸時代・19世紀	泉屋博古館東京
18	紺地唐花立鼓雲菱千切模様半切	こんじ からはなりゅうごくもびしちきり もよう はんぎり		江戸時代・19世紀	泉屋博古館東京
19	紅地山道龍丸模様半切	べにじ やまみちりゅうまるもよう はんぎり		江戸時代・19世紀	泉屋博古館東京
参考 C-1	『能装束名品集』	のうしょうぞく めいひんしゅう	芸艸堂 発行	昭和11~12年 (1936-37)	泉屋博古館東京

## 第II章 もてなす「能」—住友家の演能と大西亮太郎ゆかりの能道具 [展示室②]

20	紫地鉄線唐草模様長絹	むらさきじ てっせんからくさもよう ちょうけん		江戸時代・19世紀	泉屋博古館東京
22	孫次郎	まごじろう		江戸時代・18世紀	泉屋博古館東京
21	三光尉	さんこうじょう		江戸時代・17世紀	泉屋博古館東京
23	妙作尉	みょうさくじょう		桃山~江戸時代・ 16~17世紀	泉屋博古館東京
24	武蔵野蒔絵面箆筒	むさしのまきえ めんだんす		江戸時代・18世紀	泉屋博古館東京
25	団扇蒔絵小鼓胴 銘 桐壺	うちわまきえこつづみどう めい きりつば		江戸時代・ 18~19世紀	泉屋博古館東京
26	香包蒔絵小鼓胴	こうづつみまきえ こつづみどう		江戸時代・17世紀	泉屋博古館東京
27	桐鳳凰蒔絵大鼓胴	きりほうおうまきえ おおつづみどう		江戸時代・ 18~19世紀	泉屋博古館東京
28	雲龍蒔絵大鼓胴	うんりゅうまきえ おおつづみどう		江戸時代・18世紀	泉屋博古館東京
参考 I-1	源氏車夕顔蒔絵太鼓胴 銘 玉の尾	げんじぐるまゆうが おまきえ たいこどう めい たまのお		江戸時代・17世紀	泉屋博古館東京
29	能管 無銘 木賊兔蒔絵笛筒	のうかん むめい とくさうさきまきえ ふえづつ		江戸時代・17世紀	泉屋博古館東京
30	紫地鎧小札龍虎丸模様袷法被	むらさきじ よろいこざねりゅうこまる もよう あわせはっぴ		大正10年(1921)	泉屋博古館東京
31	白茶紺段竹山吹模様唐織	しろちゃこんだん たけやまがきもよう からおり		大正10年(1921)	泉屋博古館東京

## 第III章 茶の湯の友—春翠と亮太郎 [展示室③]

32	芦分舟図	あしわけぶねず	泰叟宗室 (1694-1726)	江戸時代・18世紀	泉屋博古館
33	椿蒔絵棗書状	つばきまきえ なつめ しよじょう	酒井抱一 (1761-1829)	江戸時代・19世紀	泉屋博古館東京
34	玄々斎好丸形手焙	げんげんさいごのみ まるがた てあぶり	了全 (1770-1841)	江戸時代・ 18~19世紀	泉屋博古館東京

No.	作品名	作品よみ	作者名	制作年代	所蔵
35	古天明日の丸釜 銘 時津風	こてんみょう ひのまるがま めい とぎつかぜ		江戸時代・17世紀	泉屋博古館東京
36	裏甲釜	うらごうがま	西村道也 (生没年不詳)	江戸時代・ 17～18世紀	泉屋博古館東京
37	青磁桔梗香合	せいじ きぎょう こうごう		明時代・17世紀	泉屋博古館東京
38	古染付荘子香合	こそめつけ そうし こうごう		明時代・17世紀	泉屋博古館東京
参考 T-3	交趾菊蟹香合	こうち きくかに こうごう		明時代・17世紀	泉屋博古館東京
参考 T-5	祥瑞立瓜香合	しょうずい たちうり こうごう		明時代・17世紀	泉屋博古館東京
参考 T-2	交趾狸香合	こうち たぬき こうごう		明時代・17世紀	泉屋博古館東京
参考 T-1	赤絵雲鶴香合	あかえ うんかく こうごう		明時代・17世紀	泉屋博古館東京
参考 T-4	染付張甲牛香合	そめつけ はりこうし こうごう		明時代・17世紀	泉屋博古館東京
参考 T-6	祥瑞襷扇香合	しょうずい ひだおうぎ こうごう		明時代・17世紀	泉屋博古館東京
39	竹一重切掛花入 銘 しぐれ	たけいちじゅうぎり かけはないれ めい しぐれ	千宗旦 (1578-1659)	江戸時代・17世紀	泉屋博古館東京
40	竹旅枕掛花入	たけ たびまくら かけはないれ	仙叟宗室 (1622-1697)	江戸時代 ・元禄5年(1692)	泉屋博古館東京
41	瀬戸肩衝茶入 銘 打出	せとかたつき ちゃいれ めい うちで		江戸時代・17世紀	泉屋博古館東京
42	小井戸茶碗 銘 筑波山	こいどちゃわん めい つくばやま		朝鮮時代・16世紀	泉屋博古館東京
43	霰蒲団釜	あられ ふとんがま	宮崎寒雄 (1633-1712)	江戸時代・ 17世紀後半	泉屋博古館東京
44	菊桐蒔絵炉縁	きくきりまきえ ろぶち	駒沢利斎	大正時代・20世紀	泉屋博古館東京
45	茶杓 銘 初霜	ちゃしゃく めい はつしも	常叟宗室 (1673-1704)	江戸時代・ 17～18世紀	泉屋博古館東京
46	白鷹捕鴨図	はくようほおうず	狩野常信 (1636-1713)	江戸時代・ 17～18世紀	泉屋博古館
47	饗養文觚	とうてつもん こ		殷後期・前12世紀	泉屋博古館
48	唐子図螺鈿長方盆	からこずらでん ちょうほうぼん		明時代・ 16～17世紀	泉屋博古館
49	海老鑲付網千鳥地紋釜	えびかんつき あみちどりじもんがま	大西浄清 (1594-1682)	江戸時代・17世紀	泉屋博古館東京
50	芽張柳蒔絵炉縁	めばりやなぎ まきえ ろぶち	川合漆仙 (1868-1928)	大正時代・20世紀	泉屋博古館東京
51	椿蒔絵棗	つばきまきえ なつめ	原羊遊齋 (1769-1846)	江戸時代・19世紀	泉屋博古館東京
参考 T-7	小井戸茶碗 銘 六地藏	こいどちゃわん めい ろくじぞう		朝鮮時代・16世紀	泉屋博古館東京
52	南蛮砂張建水	なんばんさはり けんすい		18世紀	泉屋博古館東京

No.	作品名	作品よみ	作者名	制作年代	所蔵
参考 R-3	『能楽画報』第21年10月号	のうがくがほう	能楽書院 発行	昭和2年(1927) 10月	泉屋博古館東京
参考 R-2	『能楽画報』第21年第1号	のうがくがほう	能楽書院 発行	昭和2年(1927) 1月	泉屋博古館東京
参考 R-1	『能楽画報』第10巻第5号	のうがくがほう	能楽通信社 発行	大正5年(1916) 9月	泉屋博古館東京
参考 R-4	『能衣装』	のういしょう	田中平安堂 発行	昭和8年(1933)	泉屋博古館東京
参考 R-5	『能装束模様百佳選』	のうしょうぞくもようひゃっかせん	能楽書院 発行	大正8~9年 (1919-20)	泉屋博古館東京

### 特集展示 染・織・刺繍をいどころ金属、そして新たな可能性【展示室④】

53	紅浅葱黒紅段松皮菱地 扇子夕顔花熨斗模様唐織	べにあさぎくろべにだん まつかわびしじ せんすゆうがおはなのしもよう からおり		江戸時代・18世紀	泉屋博古館東京
55	紺地桐卍字散模様袷狩衣	こんじ きりまんじちらしもよう あわせかりぎぬ		江戸時代・18世紀	泉屋博古館東京
54	紅地時鳥葉玉模様縫箔	べにじ ほとぎすくすだまもよう ぬいはく		江戸時代・18世紀	泉屋博古館東京
56	DOWN-LESS DOWN JACKET		住友金属鉱山株式会社	2023年	住友金属鉱山株式会社

### 【次回展のお知らせ】

## 特別展 生誕151年からの鹿子木孟郎 一不倒の油画道

写実絵画をもういちど

近代の日本洋画に本格的な「写実」表現をもたらした鹿子木孟郎(かのこぎ・たけしろう 1874~1941)の生誕151年を契機として、その足跡をたどる特別展です。鹿子木は現在の岡山市に生まれ、はじめ天彩学舎や不同舎で洋画の基礎を学び、1900年に米國經由でフランスへ留学しました。1918年まで都合3度にわたって留学したパリではフランス・アカデミスムの巨匠ジャン=ポール・ローランスからフランス古典派絵画の写実の薫陶を受け、ルネ・メナールに接して象徴主義の表現を学びました。帰国後は、関西美術院や太平洋画会、文部省美術展覧会の中心的な画家として活躍し、日本洋画の発展に確かな足跡を残しました。本展は、10代の初期作品からローランスに学んだ渡欧作、帰国後の文展や太平洋画会、関西美術院や家塾での活動を紹介しつつ、日本洋画における写実の展開と継承について検証します。

**会 期** 2026年1月17日(土)~ 4月5日(日)  
**休 館 日** 月曜日(祝日の場合は翌平日休館)  
**開館時間** 午前11時 ~ 午後6時(入館は午後5時30分まで)  
 \* 金曜日は午後7時まで開館(入館は午後6時30分まで)  
**会 場** 泉屋博古館東京(東京・六本木)  
**入 館 料** 一般1,500円 学生800円 18歳以下無料  
 \* 20名以上は団体割引料金(一般1,300円、学生700円)  
 \* 障がい者手帳ご提示の方は無料

詳細や会期中のイベントにつきましてはホームページをご覧ください▶▶▶

